

令和6年度の相生市決算報告

令和6年度の決算がまとまりました。市がどのくらいのお金を収入し、主にどのような事業に使ったのか、また、市の財政が今どのような状態にあるのか、その概要を皆さんにお知らせします。

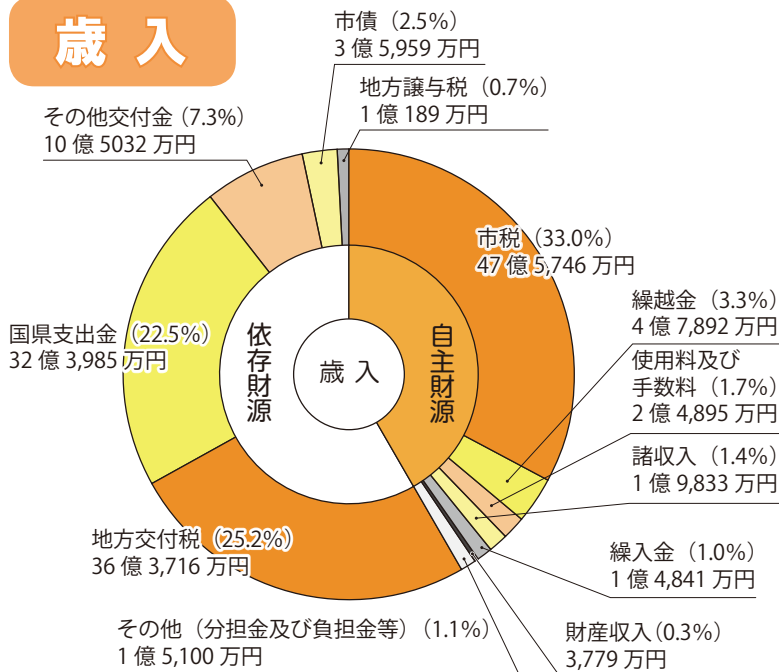
問 財政課財政係 ☎ 7127

一般会計
決算

歳入 144 億 967 万円

歳出 138 億 8,133 万円

歳入



市税	市民税、固定資産税、軽自動車税など
地方交付税	全国一律の行政サービスを受けるため、国から配分される税
国・県支出金	国や県から使い道を指定して交付されるお金
市債	大きな事業を実施する場合などに、必要な財源を調達するための借金
繰越金	会計年度が終了し、次の年度に持ち越したお金
使用料及び手数料	施設利用や証明書などの発行時に徴収するお金

①子ども、高齢者、障がい者への福祉サービスなど

（民生費 51 億 9,583 万円）

主な実施事業

定額減税補足給付事業
低所得世帯臨時支援給付金給付事業



②市役所の管理や選挙の執行など

（総務費 18 億 9,859 万円）

主な実施事業

庁舎管理事業
戸籍住民基本台帳等事務事業



③道路や公園などの整備、市営住宅の管理運営など

（土木費 17 億 72 万円）

主な実施事業

道路橋梁整備事業、公園施設維持管理事業

④教育の振興や教育施設の維持管理など

（教育費 16 億 360 万円）

主な実施事業

市立幼稚園・小・中学校給食無料化事業
市民体育館管理運営事業



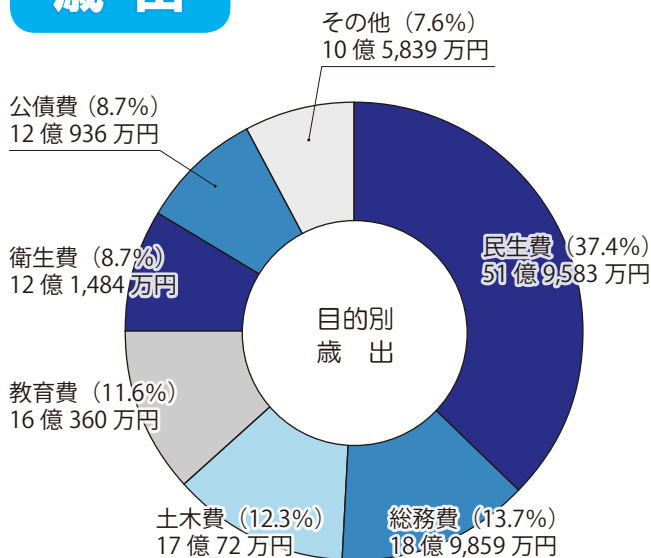
⑤健康増進、ごみ処理など

（衛生費 12 億 1,484 万円）

主な実施事業

美化センター管理運営事業、予防接種事業

歳出



⑥借入金の返済

（公債費 12 億 936 万円）

⑦その他

（消防費・農林水産業費・商工費など 10 億 5,839 万）

主な実施事業

消防施設整備事業、羅漢の里管理事業

特別会計

特別会計は、「保険料や使用料などの収入」で行う事業について、そのお金の流れを分かりやすくするために、一般会計とは別の会計で運営しています。

また、会計によっては、歳入不足となる場合があり、収支の均衡を図るため、その不足する経費を一般会計から繰り入れています。

会計名	歳入決算額A	歳出決算額B	形式収支 C=A-B	一般会計 繰入金
国民健康保険	29 億 8,997 万円	29 億 6,984 万円	2,013 万円	2 億 3,336 万円
看護専門学校	7 億 4,475 万円	6 億 5,638 万円	8,837 万円	2 億 7,678 万円
介護保険	30 億 1,829 万円	29 億 6,719 万円	5,110 万円	4 億 2,349 万円
後期高齢者医療保険	6 億 2,801 万円	6 億 2,796 万円	5 万円	1 億 4,155 万円
合計	73 億 8,102 万円	72 億 2,137 万円	1 億 5,965 万円	10 億 7,518 万円

公営企業会計

公営企業会計は、事業形態が民間企業と類似し、その会計独自の収益をもって運営されている事業で、市民病院事業、下水道事業がこれにあたります。両事業において、安定的な運営を行うために、一般会計から補助金などを支出しています。

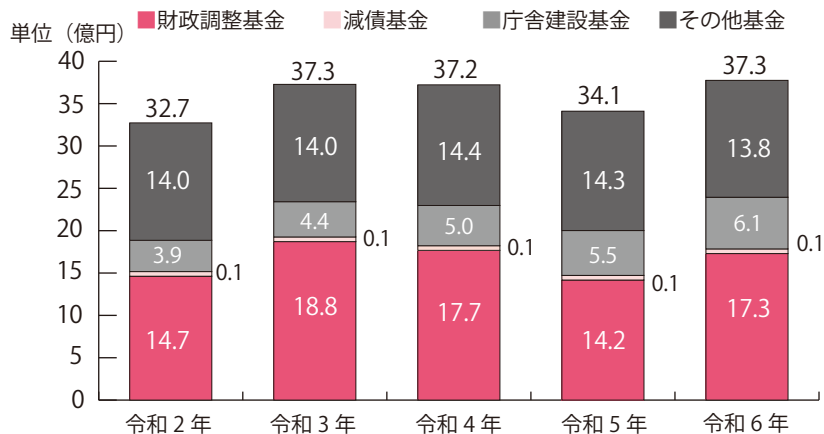
会計名	収益	費用	当期純利益	一般会計 補助金等
病院事業	6 億 3,864 万円	6 億 6,710 万円	▲ 2,846 万円	9,848 万円
下水道事業	17 億 514 万円	21 億 1,849 万円	▲ 4 億 1,335 万円	4 億 7,973 万円

市の貯金と借金

基金現在高（貯金）

市全体の基金現在高（貯金）は、前年度と比較して約 3 億 1,487 万円増加し、37 億 2,559 万円となりました。

災害などの緊急時や大幅な収支減などの不測の事態に備えるためのお金である財政調整基金は、市税の増収などにより、取り崩しを行わなかったことで、前年度より約 3 億 1,249 万円増加しました。



地方債残高（借金）

市の全会計の地方債残高は、前年度と比較して約 10 億円減少し、224 億 5,036 万円となりました。

第 4 期行財政健全化計画のもと、普通建設事業などの削減・平準化により地方債の借入額が償還額より少なくなり、地方債残高が減少しています。

